

鉄と光の芸術祭 2024

●主な会場

○旧絵鞆小学校
室蘭市祝津町2丁目7-30
10時～16時(最終日のみ15時まで)

○千穂萬歳堂
室蘭市海岸町3丁目2-6
10時～16時(最終日のみ15時まで)

○ふれあいサロン「ほっとなぐる」
室蘭市中島町1-24-2 荒井ビル1F
10時30分～18時30分

●参加作家

今田勇矢

小林麻美

酒井広司

佐藤あゆみ

澁谷俊彦

高橋喜代史

室蘭工業大学山田研究室 ほか

みぶりのアーティスト・イン・レジデンス招聘作家

葛谷允宏

室蘭の新しい文化地図を作る

9月7日(土) 8日(日)
14日(土) 15日(日) 16日(月) 祝
21日(土) 22日(日) 祝
23日(月) 祝
計8日間
入場無料

●前夜祭

9月6日(金) 17時～20時
旧絵鞆小学校グラウンド



<https://m-a-p.jp/>

主な出展アーティスト

今田勇矢

(写真家)
IMADA Yuuya

展示場所

旧絵鞆小学校

2003年、北海道生まれ。西胆振を拠点に活動。祖母のフィルムカメラを譲り受けたことをきっかけに写真を撮り始める。今見ているものが将来にはかけがえのないものになっているという視点を大切に、星空や風景、建造物、花、家族などを撮っている。主な受賞歴「撮りフェスin室蘭2023 ルーキー賞」受賞。



「地球岬と腕」2023年

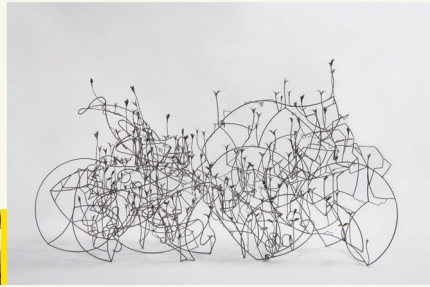
展示場所

旧絵鞆小学校

佐藤あゆみ

(造形作家)
SATOH Ayumi

札幌市生まれ。鉄を素材として、植物が生きている様子やその存在について表現している。2009年よりアトリエBeehiveにて制作。2010年北海道教育大学大学院教育学研究科教科教育専攻美術教育専修(金属工芸)修了。現在は大谷短期大学非常勤講師、保育士兼造形作家。主な展示に、道銀文化財団ARTIST FILE 佐藤あゆみ個展「ここにいるよ」(北海道銀行札幌駅前支店道銀ミニ・ギャラリー/札幌/2023年)、「アートギャラリー北海道井みまのめvol.2」(北海道立三岸好太郎美術館/札幌/2018年)などがある。第88回北海道美術協会展(道展)協会賞(2013年)。JRタワーアートボックス優秀賞(2018年)。



「ここにしかみえない」2018年/H1200xW2300xD600mm/鉄(溶接)

展示場所

ふれあいサロン「ほっとな〜る」

1974年北海道出身。「言葉と身体」に関する映像作品と立体作品を制作。近年は、地方や社会の問題に個人の心情を重ねる作品を発表。主な展覧会としてフランス、ニュージーランド、北アイルランドでの個展。カナダ、中国でのグループ展など札幌を拠点に国内外で活動。2022年第2回KYOBASHI ART WALL優秀賞。2020年第3回本郷新記念札幌彫刻賞。2010年JRタワーアートボックス最優秀賞。2006年第23回産経国際書展入選。2000年ビッグコミックスピリッツ努力賞。1995年ヤングマガジン奨励賞。2012年より500m美術館の企画をはじめ、テラス計画、Think School、パラレルミュージアムなど、地域における美術の企画運営も行う。2015年一般社団法人PROJECTA設立。



「ザブーン」2021年/鉄、塗料/W3600xH2400xD1500mm
第3回本郷新記念札幌彫刻賞受賞作品

高橋喜代史

(美術家) 一般社団法人PROJECTA(コディネーター)
TAKAHASHI Kiyoshi

葛谷允宏

現代美術家/高岡会社葛谷春光堂代表/Art space /bar(コンフリ主筆)
KUZUYA Nobuhiko

展示場所

千穂萬歳堂

愛知県一宮市生まれ。2008年、東京芸術大学大学院壁画専攻修了。2009年、アーティストトランススペース「拝借景」立上げ(茨城県取手市)。2011年、アートのスペース「art space /bar conflictable cube(コンフリ)」立上げ(茨城県取手市)。2013年、土湯アラフドアートアニュアル2013出品(福島市土湯温泉町)。2017年、アーティストインレジデンス竹園工作室参加(台湾新北市)。2018年、第28回UBEピエンナーレアーティスト・イン・レジデンス部門最優秀プラン(山口県宇部市)。2020年、コンフリ宇部 立上げ(山口県宇部市)



「座敷魚」
2010年/アーティストインレジデンス輪島 舟木千舟堂(石川県輪島市)



「母恋富士山頂から陣屋町方向を見た室蘭港の製鉄会社工場群」1976年/写真(タブロイド紙「京都と札幌、その界限」に連載「写真の行方」として掲載)

展示場所

旧絵鞆小学校

小林麻美

(画家)
KOBAYASHI Asami

眼前の出来事と薄れていた記憶が繋がり、不確かな景色が揺れるような瞬間、何かを予感してザワつくような場面を絵画に出来ないか模索している。主な展覧会に「境界としての、ひと、情景」(ギャラリー green&garden/京都/2024年)、「小林麻美個展一次の予鈴が鳴り響き、」(Gallery門馬/札幌/2023年)、「VOCA展2020ー新しい平面の作家たちー」(上野の森美術館/東京/2020年)、「絵画の現在地」(500m美術館/札幌/2018年)、「眼に触れる・小林麻美個展」(岩見沢絵画ホール松島正幸記念館/岩見沢/2017年)、「となりのひと」(本郷新記念彫刻美術館/札幌/2012年)などがある。



Glitt〜贈り物の中身はもうわかっている〜より
「考えすぎの待合室」「あしたのわたしとあそび公園」「わたあめごしの部屋」全てカンヴァスに絵具

展示場所

旧絵鞆小学校

酒井広司

(フォトグラファー)
SAKAI Koji



1960年余市生まれ、札幌在住。1973〜78年室蘭母恋に居住。1980年東京工芸大学短大部写真技術科卒。同年、「夏の消失点」にて第1回フォックスタルボット賞受賞。1970年代から北海道を撮影対象に写真を制作している。札幌を拠点に個展、企画展に参加。2023年、東川フォトフェスタ野外展。東京工芸大学「写真100年展」(東京都写真美術館)に出品。2014年第30回写真の町東川賞特別作家賞受賞。2016年北海道文化奨励賞受賞。公益社団法人日本写真家協会会員。小樽写真研究会会員。

展示場所

旧絵鞆小学校

澁谷俊彦

(美術家)
SHIBUYA Toshihiko

室蘭市生まれ。北国の地域特性を活かした新しいアートの在り方は大地との強い結びつきにあるという考えのもと、自然と対峙するのではなく共生し、環境と融合するランドアートを目指す。2023年、スコットランド主催のThe Starving Artistで世界20カ国から「環境問題を主題に活動するアーティスト30名」に選出。札幌、東京、名古屋、大阪、京都、ニューヨークで個展を開催。主な受賞歴に、北海道文化奨励賞(2017年)、札幌文化奨励賞(2014年)、第24回ドイツ・オランダ・ベルギー美術賞/優秀賞(1998年)などがある。イコロの森ミーツ・アート代表。北海道芸術学会副会長。専門学校札幌デザイナー学院学校長。



「Snow Pallet 13」札幌パークホテル中庭/2020年12月〜2021年3月

展示場所

旧絵鞆小学校



「Adagio」2022年

室蘭工業大学山田深研究室

Shin Yamada Laboratory, Muroran Institute of Technology

建築設計・意匠学が専門。現代の建築・都市空間の特質を、主に建築家の言説分析を通して明らかにしながら、人間・社会・自然・環境など様々な水準の「関係性の網目」として建築・空間を創り上げることを目指す。山田深のもと、現在大学院生と学部生合わせて11名が設計活動および研究に取り組んでいる。主な建築作品に「カトリック東室蘭教会聖堂」など。建築設計の他、まちづくりの活動等にも関わり、MAPには2021年から連続しての参加となる。